

⑬ 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-21800

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和59年(1984)2月3日

D 21 H 5/18

7921-4L

A 24 B 15/28

6543-4B

A 24 C 5/46

6543-4B

A 24 D 1/10

6543-4B

B 01 D 39/14

A 8314-4D

発明の数 2  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑥ 不燃性紙

⑦ 発明者 棚橋 胖

名古屋市緑区鳴海町文木17の2

⑧ 特 願 昭57-132369

⑧ 出 願 人 棚橋 胖

⑨ 出 願 昭57(1982)7月29日

名古屋市緑区鳴海町文木17の2

## 明 細 書

1 発明の名称 不燃紙

2 特許請求の範囲

(1) セビオライト1の固結性並びに揺変性を利用して、該繊維単独、若しくは石棉、硝子繊維など無機質のみにて容易に製紙し得ることを特徴とする 不燃性紙の製造方法。

(2) 不燃性壁紙に於いては、セビオライト繊維1の強度補強の目的にて、硝子繊維2又は石棉3を適量に混入して成る。特許請求の範囲(1)に記載する製法により製成した、不燃性壁紙の構造。

(3) 耐薬品汚濁用に於いては、セビオライト繊維1の溶解防止を目的としてシリコーン又はテフロン等の耐薬品補強剤4を5%以下混入して成る特許請求の範囲1の製法による無機汚濁紙の構造。

(4) 煙草の巻紙に於いて、セビオライト繊維1の良質の長繊維を選出し、之にPVA等の燃消する目粘剤5を少量調合して成る。煙草の燃焼を調整していることを特徴とする、特許請求の範囲(1)に記載する製紙法による不燃性煙草用巻紙の構造。

## 3 発明の詳細な説明

この発明は先に公開した昭和47年特許第86480号(不燃性紙巻煙草)と該紙を作る可く、昭和49年特許願第29689号(吸気法に依る製紙装置)と共に協力者なく放置状態にあるを遺憾とし、探究の結果、無機繊維体で固結性を有する稀有な原料を見つけたことにより、原発明を活かす改良に係る。

以下図面を用いて本発明を詳細説明する。

先づ要点となる原料のセビオライトの特異性から解説する。1はセビオライトの分子構造を示し、レンガ積状結晶構造で、大きなあき間が多く、そのあき間の表面に(-OH)を持っているから付着性が強く、揺変性や可塑性に特異な性質がある。その上吸水後乾燥すると固結する特性がある。納この無機繊維1は鹿皮の繊維に等しい繊細さである。従って之を利用する本発明1に於いてはセビオライト単独のみでも無機質の製紙を可能とするが水等に溶解し易く引張の強度が不足する製紙方法で本発明2は補強の必要上、硝子繊維2又は石棉

特開昭59-21800(2)

8を適量に混入する実用的な不燃性壁紙の構造である。

第8の発明は該製紙法に於いて、耐熱耐薬品耐水性の剤料、例へばシリコーン、テフロン等の適当な固結剤を少量混入して成る、耐熱性、耐薬品性、耐水性滷過紙の構造とする。

第4の発明は煙草の巻紙を不燃性に改良するため、セビオライトIの長繊維のみを選別主材料とし、之に極細の硝子繊維2を補強材として適量混入し、更に適当な通気性を得るために、燃消する糊剤例へばPVA、CMCを適量混入して製紙して成る。不燃性薄葉紙の構造等である。

上記の構成の発明にあつては稀有な無機繊維（セビオライト）1の特異性、（吸着性）（播変性）（可塑性）を利用したことにより、従来技術で出来なかつた無機質紙を容易に製紙可能としたことを特徴とする不燃性紙の製造方法である。第2の発明は第1の製紙方法に於いて、硝子繊維2や石棉8を適量に混入して製紙して成る、丈夫な不燃性壁紙であり、第3の発明は上述の製紙はセビオ

ライトの固結性によるため、水溶性が著しい欠点がある之を防止する可く、耐水性、耐熱性、耐薬性を有する剤料、例へばシリコーン、テフロン等の樹脂を少量混入して製紙して成る滷過紙の構造である。第4においては、煙草の巻紙を無機質繊維で作る可く、第1の発明の製紙方法を以って製紙する主原料、セビオライト1の特に長繊維部のみを選別して単独、若しくは極めて細い硝子繊維2を1部補強に混入し、更に目詰剤としてPVA又はCMC等の凡用の糊剤を適量調合して薄葉状に製紙して成る、煙草用の不燃性紙の構造である。

以上のようにこれ等の発明は、稀有の無機質繊維状のセビオライトを応用し、その特異な吸着性、播変性、可塑性により、従来出来なかつた無機繊維ばかりで容易に製紙出来るようにした無機繊維の不燃性紙の製造方法と、その製法による丈夫な不燃性壁紙で防火に役立ち、耐熱、耐薬品性、耐水性の滷過紙は特殊な滷過に使われ、不燃性紙巻煙草は喫煙時に灰が落ちないこと、燃焼部分から逐次通気が出来、まろやかな味となる。（紙の燃焼

の刺激臭や灰化物の煙が著しい害となる）外投捨吸殻よりの火災が自然消火により、株消出来るなど極めて有効適切なる発明である。

#### 4 図面の簡単な説明

図面は本発明の概略実施例を示すものであつて

第1図は稀有無機原料の理論的説明図

第2図は補強無機壁紙の構造を示す図

第3図は耐熱耐薬品耐水性の滷過紙の構造を示す図

第4図は不燃性紙巻煙草の構造を示す図

1 ……セビオライト繊維 2 ……硝子繊維

3 ……石棉 4 ……耐水性、耐熱性、耐薬品性

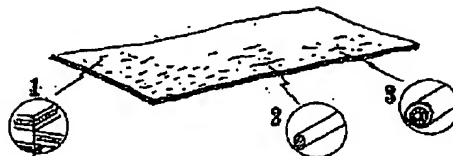
固結剤 5 ……燃消し通気性の出来る目詰剤

BEST AVAILABLE COPY

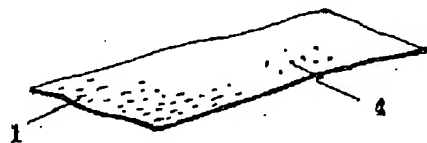
第 1 図



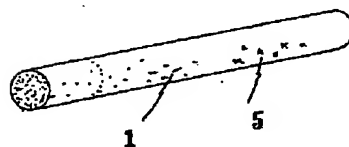
第 2 図



第 3 図



第 4 図



手続補正書 (方式)

昭和57年11月2日

特許庁長官殿

1 事件の表示

昭和57年特許願第182869号

2 発明の名称

不燃性紙

3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名古屋市緑区鳴海町文木17の2

棚橋 胖

4 補正命令の日付

昭和57年10月7日

5 補正の対象 明細書の欄

6 補正の内容

(1) 明細書の名称「不燃紙」とあるを

「不燃性紙」と補正する。

(2) 詳細なる説明中2頁19～20行目

「製紙方法で、本発明2は」とあるを

「尤め、特許請求の2は」と補正する。

